

令和5年度 学校経営の基本方針

柏崎市立柏崎小学校

学校の教育目標

しんの強い しっかりした子ども

年度の重点目標

ゆめときぼう たのしくむねをはれる学校

取組の重点

- 確かな学力の育成……表す
 - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業づくりの推進
 - ・問いを立て、学びをつないで深く考える場面の設定
 - ・「書く活動」「話し合い」の工夫とICTの活用
 - ・生きて働く学力の定着と個別指導の充実
 - ・生活科・総合的な学習の時間を中核とした横断的カリキュラムマネジメント

- 豊かな心をはぐくむ教育の推進……思いやる
 - ・子どもたち一人一人のよさを生かした、心理的安全性の高い学級づくり
 - ・あいさつ運動など「柏小のまちづくり」を意識付けた自治的な活動の工夫
 - ・「つながリアン宣言」「思いやりレター」を活用した活動の積み重ね
 - ・柏崎の自然や文化を愛する活動や人と関わる体験の充実

- 健やかな体をはぐくむ教育の推進……生きる
 - ・運動遊びの奨励と体力づくりの環境の充実
 - ・「楽しい、おもしろい」と実感できる体育学習・保健学習の積み重ね
 - ・「マスターライフ」「メディアルール」の家庭と連携した有効活用
 - ・かけがえのない自分、大切な命への気付きを深める健康教育の推進

取組の姿勢

- ◆ 土台・根っこに「特別支援教育の充実」「人権教育、同和教育の推進」を据える
 - ・「特別支援教育の充実」について、一人一人の教育的ニーズに応じた全校体制による指導・支援を進める。
 - ・「人権教育、同和教育の推進」について、違いを認め合い、いじめや差別をしない、許さない、命を大切にす意識の醸成を進める。

- ◆ 子どもの幸福感を高める
 - ・子どもにとって学校が安心できる居場所となるよう、一人一人の心に寄り添って温かい言葉をかけ、積極的に思いを聞き取り、誠意をもって向き合う。
 - ・子どもとのかかわり、子ども同士のかかわりを積極的に図り、互いに認め合える学級や集団を育む。

- ◆ 職員チームとして支え合う
 - ・日々の授業の質を高める授業改善に取り組み、授業公開や情報交換等で互いの実践のよさを学び合う。
 - ・「報告―連絡―相談―確認」を的確に行い、職員組織として早期発見・迅速な対応に努める。
 - ・「選択と集中」を合言葉に、具体的な方策で職員の働き方改革を進める。効率と教育効果、両方の視点から、柔軟に教育活動を見直す。

- ◆ 家庭・地域・中学校と協働する
 - ・地域を学びの場とし、「柏崎の自然や文化を愛する活動」を重ねながら、子どもの笑顔や成長の姿で教育活動の成果を伝える。
 - ・第一中学校と学習指導、生徒指導、特別支援教育等で具体的に行動連携を図る。
 - ・創立150周年を迎え、愛校心を高め、学校や地域の魅力を再発見し、発信する。

- ◆ 居心地のよい教育環境づくりに努める
 - ・子どもにとって安心・安全で、様々な資質を醸成する学校環境を築く。
 - ・子どもの安全を守り、社会性を育む地域環境を地域との協働で実現する。
 - ・家庭、地域がかかわる活動については、共通理解の上で進める。